

令和6年度 第2回 特別区長会調査研究機構理事会 日程

(日時) 令和6年9月12日(木) 役員会終了後
(場所) 東京区政会館 19階 192会議室

- 1 顧問の選任について (機構事務局長)

- 2 第4回調査研究報告会の実施結果について (機構事務局長)

- 3 令和6年度調査研究事業の進捗状況について (機構事務局長)

- 4 令和7年度新規調査研究テーマと今後のスケジュールについて (機構事務局長)

- 5 その他

令和 6 年 9 月 1 2 日
特別区長会調査研究機構
令和 6 年度第 2 回理事会

顧問の選任について

任期：令和 6 年 9 月 1 4 日から令和 8 年 9 月 1 3 日まで（再任）

氏名	役職等
神野 直彦	東京大学名誉教授、日本社会事業大学名誉教授
広井 良典	京都大学教授
市川 宏雄	明治大学名誉教授
藁谷 友紀	早稲田大学教授
宮本 みち子	放送大学/千葉大学名誉教授
清原 慶子	杏林大学客員教授、こども家庭庁参与（前三鷹市長）
高橋 行憲	社会福祉法人馬島福祉会理事長、株式会社 A・Y・Aホールディングス代表取締役
青山 侑	明治大学名誉教授

（参考）任期中の顧問

任期：令和 5 年 7 月 1 1 日から令和 7 年 7 月 1 0 日まで

氏名	役職等
矢田 美英	元特別区長会会長（前中央区長）

第 4 回調査研究報告会の実施結果について

令和 5 年度に実施した調査研究 6 テーマに関する第 4 回調査研究報告会を下記のとおり開催した。

なお、8 月初旬より、各報告の様子のダイジェスト動画を YOUTUBE により配信している。

記

- 1 開催日 令和 6 年 7 月 4 日（木）
- 2 会場 東京区政会館 2 0 階
- 3 報告テーマ数 6 テーマ
- 4 聴講者数 延べ 3 6 4 人（区職員等 3 1 9 人、研究者等 4 5 人）
- 5 オンライン配信視聴回数 1, 2 4 0 回（令和 6 年 9 月 2 日現在）

令和 6 年 9 月 1 2 日
特別区長会調査研究機構
令和 6 年度第 2 回理事会

1 令和 7 年度新規調査研究テーマについて

	区名	テーマ名・研究のねらい
1	台東区	<p>再開発と合意形成に関する調査研究</p> <p>都市再開発法は公共の福祉への寄与を定めているが、再開発に当たっては、様々な価値観からの意見が反映され、時には対立することもある。</p> <p>とりわけ近年は、都心部の市街地再開発事業等で、当該エリア内の合意形成に留まらず、有識者や関係団体、メディアを介した不特定多数などとの合意形成が求められるケースも見られる。これにより、事業を推進するための合意形成が難航する事例が発生しており、事業が立ち往生している事例もある。</p> <p>本研究は、<u>再開発のもたらす公共性への寄与と地域関係に関して、近年の問題状況について都市部の事例を中心に分析し、これからの時代に即した再開発における公共性の確保と住民の関係のあり方を研究し、合意形成に向けた必要な方策等を考察するものである。</u></p>
2	世田谷区	<p>大規模震災時における発災から復興までの施策立案・実施等に係る内部手続き等に関する調査研究</p> <p>現在、首都直下型地震をはじめとする大規模災害の発生に対して、区役所全体も被災している混乱状態下でも、現実的に想定した応急対応、復旧、復興対策を迅速かつ適切に遂行していくことが求められる。</p> <p>しかしながら、現状では、各種の震災復興マニュアルが策定されてはいるが、抽象的な内容も多く、今後予定される計画の修正にあたっては、より実践的な内容にリニューアルしていくことが必要不可欠である。</p> <p>本研究は、<u>上記の視点を踏まえ、特に、大震災を経験した自治体、神戸市・仙台市・熊本市等において、事前にどのような対策が取られており、実際に震災復興を行うにあたり、どの程度計画と実際が乖離していたのかを把握するとともに、特別区内で大規模震災が発生した際の実践的な復興対応策の策定に向けた指針等を考察するものである。</u></p>

	区名	テーマ名・研究のねらい
3	葛飾区	区民の健康寿命延伸に向けた特別区の施策展開
		<p>誰もがいきいきと健康に生活し、社会全体の活力を維持・向上させるためには、「健康寿命の延伸」が不可欠である。</p> <p>特別区は、これまでも健康アプリの導入、運動習慣を取り入れる動機付けや情報提供、健康促進事業の展開など様々な取組を行ってきた。今後は、より多くの区民がさらに健康な生活を送ることができるよう、区民が参加しやすく、かつ、継続しやすい健康づくり事業の施策展開が求められる。</p> <p>本研究は、<u>健康寿命延伸に向けた取組の中で、従来の健康アプリの活用や事業者の健康経営等にも着目し、健康づくりに向けた行動変容策を含む有益かつ具体的な手法等について、大都市ならではの環境や課題を踏まえて考察するものである。</u></p>

2 今後のスケジュールについて

令和6年9月中旬 ～10月中旬	新規テーマへの研究員としての職員参加募集
令和6年11月8日	第3回特別区長会調査研究機構理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度調査研究テーマ（案） （新規テーマ及び継続テーマ） ・ 令和7年度事業経費概要 ・ 令和6年度調査事業の進捗状況
令和7年2月12日	第4回特別区長会調査研究機構理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度事業計画及び収支計画（案）